

STOP! ワースト4災害

社会福祉施設の『転倒』はここで起きた!!



滋賀県内では近年『転倒』『腰痛等』『墜転落』『はさまれ・巻き込まれ』の4つの災害（＝ワースト4災害）が多発しています。本リーフレットでは、滋賀県内の社会福祉施設で、実際に転倒災害が発生した場所・発生時の行動等を掲載し、転倒災害防止ポイントとともに安全教育に利用できる動画や県内施設の労災防止対策好事例集などをご紹介します。

『滑り』の転倒災害はここで起きた

水ぬれ

- ・しゃがんで浴槽内にお湯を入れていたとき
- ・入浴後の着替え中に脱衣所へ移動しようとしたとき
- ・脱衣所の洗濯機に洗濯物を入れるとき

利用者がきっかけとなったもの

- ・利用者が投げた書類を急いで取りにいったときに生えていた雑草で
- ・散歩帰りに突然走り出した利用者を追いかけたときに雨に濡れた路面で

その他

- ・雨天時、利用者玄関宅のゆるやかなスロープで



『つまずき』の転倒災害はここで起きた

作業場所

- ・入浴介助後、ファンヒーターのコード
- ・浴室清掃作業で使っていたシャワーホース
- ・車いす専用車両で車いすを固定するフックベルト
- ・居室に敷いていたマットのめくれ
- ・お茶を持っていくときに近くに置いていた台の脚
- ・夕食片付け時にテーブル横にあった歩行器の脚
- ・自分がはいていたスリッパ

事務室

- ・コピー機の角
- ・（扉を開けたときに）反対側から来た同僚の足
- ・机のすぐ脇に置いていた（いつもは置いていなかった）ダンボール箱



『こんなとき』に転倒災害が起きた

- ・利用者を追いかけようと走ったとき
- ・利用者のコールに急いで対応しようとしたとき
- ・早く着替えようと更衣室に走っているとき
- ・忘れ物に気づいて勢いよく振り向いたとき
- ・暗い階段を手すりを持たずに降りているとき
- ・ゴミ出し後に雨が土砂降りとなり走ったとき

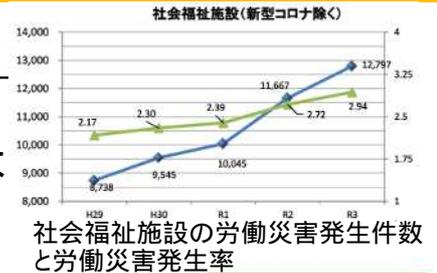


転倒災害防止対策のポイントはここだ!!

転倒災害の特徴とリスクの高さを知る

特徴1 「転倒」は腰痛等に次いで多発する労働災害!

社会福祉施設の休業4日以上の労働災害は**件数・発生率とも増加傾向**です。また、令和3年の約1.3万件のうち転倒災害は**約4300件(33%)で事故型別で2番目に多く発生**しています。



特徴2 高齢者、とりわけ女性の発生率が高い!

転倒災害は**高齢になるほど災害発生率が高くなり**、特に60代後半の女性は20代の**約16倍**も発生率が高くなります。



特徴3 休業1か月以上が約60%!

転倒した時について手を骨折するなど、転倒災害は**重症化しやすく**、一度の転倒で長期間休むリスクがあります。

『滑り』対策のポイント

床ぬれに気づいたときはすぐにふき取る
雨天時は走らずに歩幅を小さくして歩く
利用者の突然の行動を予測し準備する
滑りにくい・ぬげにくい履物を着用する

『つまずき』対策のポイント

急いでいる・慌てているときほど焦らずに周囲や足元を確認してから行動する
通路に物やコードがはみでないよう整理する
めくれたマット類は補修・交換する

転倒災害防止 動画教材と好事例集のご紹介

(活用例) 各種安全教育に使用・食堂や休憩室で放映

厚生労働省ホームページ
転倒予防・腰痛予防の取組



「スペッチアダメよ! 転倒予防
ムチャしちアダメよ! 腰痛予防」
キャンペーン実施中!

西川きよしがリーダーとなり、マヂカルラブリーやアインシュタインなどの人気芸人が、転倒・腰痛予防の方法を分かりやすく紹介しています。(動画4種)



MHLWanzenvideo
厚生労働省 youtubeチャンネル



社会福祉施設向け転倒・視聴覚教材

災害事例から基本姿勢など具体的な災害防止ポイントが学べるため、危険予知力の向上につながる内容です。また、「腰痛これだけ体操」も紹介しています。(約9分)



外国人労働者向け安全衛生教育教材/介護業

漫画を使った外国人労働者向けとなっており、基本的な内容を網羅しており日本人の雇入時教育でも十分に活用できる内容です。(約14分)



毎日3分でできる転びにくい体をつくる職場エクササイズ (約3分)



厚生労働省
滋賀労働局

滋賀労働局ホームページ
安全衛生関係

『第13次労働災害防止推進計画 最終年(令和4年)の取り組み』の「社会福祉施設の取り組み」ページで彦根・東近江労働基準監督署の管内施設の労災防止対策の好事例をまとめています。



↑ 詳しい内容は
↑ こちらから

